

三河商人道

PART
136

株式会社 熊野屋

代表取締役

志賀 信彦 君



青年部は、人との出会いが広がる場所



やさしい笑顔で、青年部は「人との出会いが広がる場所」と語って頂いたのは、平成7年4月に入会された、株式会社熊野屋の志賀 信彦さん。

岡崎市柱5丁目にて豆腐製造業「とうふ屋さん」を営んでいます。大きく分けると、豆腐・生揚げ・油揚げ・がんもどき・焼き豆腐などの大豆加工食品の製造から卸を行っています。その中でも9割は市内を中心にFEEL、ドミーなどのスーパーマーケットに卸しているそうです。大学生の頃からすでに家業の手伝いをされていたということで、現在に至るまで家業一筋。そんな志賀さんに食品を扱う中で一番大切にしている事をお聞きしたところ、すぐに「安全でおいしいものを市民の皆様へ届けること」と素晴らしいお言葉が返ってきました。

入会のきっかけは、取引先である社長さんの紹介だったそうです。しかし入会して間もない32歳の頃に先代であるお父様が突然他界され、会社の経営を背負い日々格闘していた為、なかなか青年部には参加できなかったそうです。その中でも特に印象に残っているのは、新入会員のはじめのあいさつや委員会などで大先輩の前で話す事がいつも緊張していたと振り返っていただきました。

今年度卒業を迎える中で、長年入会してきて良かったのは、別の団体に所属していても青年部という事で親しくなれたりしたことがすごくうれしかったそうです。

取材終了後、実際に工場で製造を行っている現場や出荷前の商品を見せてもらうことができました。まだ一部店舗でしか販売していないレアなおカザえもん豆腐などたくさんの種類をみせていただきました。この時期寒い日などは鍋をする家庭も増えるためかなり忙しくなるそうですが、これからも安全で美味しい豆腐を沢山作り続けていただきたいと思います。

やさしい笑顔と今回の取材をととても喜んで頂けた志賀先輩。いつもはお忙しくてなかなかお会いする機会も少ないのですが、今回、貴重なお話がたくさんうかがえて本当に楽しい取材となりました。



安全でおいしいお豆腐が
たくさん生産されています。



現場も事務もこなして大忙しの志賀さん。



岡崎でもレアなおカザえもん豆腐。



取材担当/
情報発信委員会
石川雅規・大倉啓司
塩田篤志・渡邊忠大